

第59回

鎌倉新能

平成29年

10月6日〔金〕・7日〔土〕

開場・午後4時 開演・午後5時 〔雨天中止〕

会場・鎌倉宮境内（鎌倉市二階堂154）

6日〔金〕演目

金春流 素謡 翁おきな

初日之式

千歳

金春

憲和

被災地復興に寄せて

鎮魂の舞

金春流 仕舞（二番）

養老よろう

辻井

八郎

井筒いづつ

高橋

忍

樋の酒ひのさけ

野村

萬斎

喜多流 能

融とある

シテ

香川

靖嗣

和泉流 狂言

融とある

シテ

野村

萬斎

7日〔土〕演目

金春流 素謡 翁おきな

二日目之式

千歳

金春

憲和

被災地復興に寄せて

鎮魂の舞

金春流 仕舞（二番）

養老よろう

山井

綱雄

井筒いづつ

本田

光洋

樋の酒ひのさけ

シテ

野村

万作

金春流 能

融とある

シテ

金春

安明

和泉流 狂言

融とある

シテ

野村

万作

KAMAKURA
TAKIGINO 2017

■料金：全席指定7,000円(税込)※解説入りパンフレット付(パンフレット事前送付)

■発売：平成29年9月1日(金)午前9時より※全席指定(位置の希望は受けられません)

■予約・申し込み

●CNプレイガイド【電話】TEL 0570-08-9999(10:00~18:00) ※9/1のみTEL 0570-08-9955(9:00~18:00)

【web】<http://www.cnplayguide.com>(24時間受付)

●(公社)鎌倉市観光協会 薪能申込専用電話 TEL 0467-23-3545(9:00~16:00)

■主催：(公社)鎌倉市観光協会 ■共催：鎌倉市

■後援：神奈川県、鎌倉市教育委員会、鎌倉宮、(株)ジェイコム湘南、鎌倉エフエム放送(株)、神奈川新聞社

■お問合せ先：(公社)鎌倉市観光協会 TEL 0467-23-3050(8:30~17:15) <http://kamakura-info.jp/>

●ご注意 ※悪天候により中止の場合でも旅費等の補償はできません。 ※会場内で撮影・録音はできません。 ※小学生以下の入場はできません。
※ペット連れでの入場はできません。 ※雨天等で開演前に中止となった場合は料金を払い戻します。

第十二回鎌倉芸術祭参加

題字：里見弴 写真：金春宗家 伝 聖徳太子作 翁面「白式劇」

秋の恒例行事、鎌倉薪能は今年で五十九回目を迎えます。

鎌倉薪能は一九五九年(第一回目)より半世紀以上続いており、発祥と言われる奈良・京都に次ぐ長い歴史があります。鎌倉宮の杜に囲まれた特設舞台は、独特な雰囲気醸し出し、能楽界を代表する超一流の方々のご出演により神事能として高い評価を得ています。

舞台と観客の皆さまの一体感が増し、より臨場感あふれる会場で開催いたします。野外能ならではの

第59回

鎌倉薪能

の魅力あふれる鎌倉薪能。本年も充実した内容をお届けいたします。

鎌倉宮にて虫の音・月の光・そよぐ風を感じながら、能は喜多流・金春流による【融】、狂言は和泉流による【樋の酒】と見応えのある演目をお楽しみください。

また昨年引き続き、東日本大震災および熊本地震により甚大な被害を受けた被災地に向けて『被災地復興によせて〜鎮魂の舞〜』をご披露いたします。

KAMAKURA TAKIGINO 2017

【狂言 樋の酒(ひのさけ)】

外出をしようとする主人(アド)が、太郎冠者(シテ)に米蔵の番をするように、次郎冠者(小アド)には酒蔵の番をするように命じます。主人が出かけると、次郎冠者は酒蔵の酒を飲み始めてしまいます。それを愈越しに知った太郎冠者は、大いにうらやましますが、米蔵を出ることは禁じられています。しかしなんとか酒を飲みたい太郎冠者と、飲ませたい次郎冠者は……。

太郎冠者と次郎冠者は、離れた場所で酒を飲むためのアイデアを思いつきます。どのようなものでしょうか。ヒントは曲名に。

【能 融(とる)】

秋の夕暮れ、旅の僧(フキ)が都の六条河原院を訪れ、汐を汲む老人(前シテ)と出会います。僧は、海のない都で汐汲みのための田子桶を持っている老人を不思議に思います。すると老人は、昔、源融の大臣が陸奥千賀の塩竈(宮城県)を模した風景を河原院に作ったことや、海水を河原院に運び塩を焼かせて、その風情を楽しんでいたことを語ります。しかし融亡きあとは河原院を受け継ぐ人がおらず荒れ果てていると言いき、感情を高ぶらせ昔を偲んで涙を流します。

老人は河原院から見える都の山々を僧に教え、二人は共に景色を眺め渡します。月が高く昇ると河原院に昔が甦り、老人は海水を汲むと、汐のしぶきに隠れて消え失せてしまいました。

都の男(アイ)が僧に融の話をし、弔いを勧めます。夜になり、僧の前に貴公子の姿をした融の霊(後シテ)が現れ、昔の遊舞を思い出して舞を舞います。月が傾くと、融の霊は月の都へ帰ってゆきました。

作者は世阿弥。融の河原院への強い執着は、月光に優しく照らされて、やがて美しい懐旧の舞へと昇華していきます。

What is Noh(能)?

Noh is a performing art with long history. Its origin may be various preceding dances, music, and other performances. About Japan's Muromachi period, during the 14th to the 16th centuries, Noh had established its present style. Reflecting its origins, a Noh play consists of dances, chorus, and musical instrument's play. It resembles western musicals, but it could differ in that Noh plays respect established patterns and ways of performance. Everything is precisely defined, including the way to move and sing, and performers are required to show their originality within the rigidly defined framework.

Tonight's program has four parts. The first play, Okina(翁), represents an early version of Noh. Tonight, they perform only the chorus part. The second part is Shimai(仕舞), which is a portion of Noh play in a simplified style. The main performer sings and dances without a Noh-mask. The main performer's costume is simple. There is a chorus group to assist the main performer, but there are no instrument players. The third part is Kyogen(狂言), which is a comical performance criticizing and admiring various human nature. The fourth part is a full Noh play.

What is Takigi-Noh(薪能)?

Literally, it means Noh-performances with firewood. Firewood is used to light the Noh stage outdoors in the evening. Originally, Takigi-Noh was performed at the Kohfukuji Temple and the Kasugataisha shrine in Nara around the 13th century or earlier as an event dedicated to the god. Today, Takigi-Noh may indicate just outdoor Noh performances with bonfires as a summer evening event.

About Kamakura Takigi-Noh(鎌倉薪能)

The Kamakuraguu shrine has hosted a Takigi-Noh event for more than half a century known as Kamakura Takigi-Noh. It is the third oldest Takigi-Noh in Japan. Following the original Takigi-Noh style at the Kohfukuji Temple and the Kasugataisha shrine, the whole event is dedicated to the god. Therefore, the event starts with the drum beating, followed by a purification ceremony, prayer for peace and the success of the event, and the offering of a twig of the sacred sakaki tree to the god. After the distinctive sound of trumpet shell, the bonfire is set. The start of Noh performance is declared, and the first performance begins. After the Kyogen play, sacred sake is provided to the Noh players prior to their performances. We hope you enjoy a series of special and sacred ceremonies, as well as the Noh performance itself.

【催しに関する注意事項です。必ずお読みください。】

- 座席はすべて指定ですが、位置の希望はお受けできません。
- 入場券の販売は売り切れをもって締め切りとさせていただきます。
- 入場券購入後の変更は一切できません。
- 中止の場合の旅費等の補償はできません。
- 開演後の入場については制限させていただく場合があります。
- 小学生以下の入場はできません。
- ペット連れでの入場はできません。
- 会場内での撮影、録音はできません。
- 駐車場の用意はありませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。